C/O KUMAMOTO YMCA 4-1 DANIYAMAHONMACHI CHUOU-KU KUMAMOTO JAPAN http://www.janes-ys.org

～L. L. ジェーンズとジェーンズ邸～

L. L. ジェーンズは熊本洋学校教師として、熊本バンドのメンバーをはじめ、多くの優秀な若者を世に送り出しました。ジェーンズワイズメンズクラブは、ジェーンズの献身的な奉仕の業と功績に敬意を表し、その名を冠に戴いた社会奉仕団体です。

2016年の熊本地震で全壊したジェーンズ邸は、2022年に水前寺江津湖公園へ移転して復元整備されました。

国際会長主題　“Let Your Light Shine “
輝かそう、あなたの光を　／Urlik Lauridsen（Denmark）

アジア太平洋地域会長主題　“Be the light for change “
変革のための光となろう　／利根川恵子（東日本区・川越クラブ）

西日本区理事主題　“Let’s illuminate the light of hope for the future “
未来に灯そう希望の光り　／深谷聡（名古屋クラブ）

九州部部長主題　“Let’s take off naw　Wind blow from Kyushu”
今こそ動き出そう　九州から風を　／中西賢一（熊本にしクラブ）

クラブ会長　山田 芳之

主題 ： もう一度、持続可能なクラブ運営と活性化を目指そう！

Let’s move toward sustainable club management and revitalization! Once more.

１１月例会

日時：2023年11月14日（火）
会場：ホテルキャッスル
司会：中山順博ワイズ

1　開会宣言・点鐘　山田会長
2　「いざたて」　全員
3　会長挨拶　山田会長
4　ゲスト・ビジター紹介
5　ハッピーバースデー＆アニバーサリー
6　食前感謝　加藤担当主事
　～食事・諸報告～
7　卓話
　演題「文化芸術を親しめる まちづくり」
　講師　熊本市文化創造部
　田島 千花子 部長

甦ったジェーンズ邸

8　「なごりはつきねど」　全員
9　閉会宣言・点鐘　山田会長

＜ハッピーバースデー＞
池田順一　６日　堀川和幸　１９日
伊瀬知裕　２９日

＜ハッピーアニバーサリー＞
森博之・信恵　１日
塚田俊樹・富美子　４日
加藤泰文・香織　１２日

１１月強化月間　ＢＦ

国際協会のメンバーであることを自覚し、献金目的の理解を深め、積極的に協力しましょう。

牧野 万里子 国際・交流事業主任（京都ウエスト）

今月の聖句

加藤 泰文

テサロニケの信徒への手紙一　５章１６節～１８節

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなた方に望んでおられることです。

学生たちは、自分の夢を現実のものとするため、日々学院生活において学びを深めていっております。ともすると、忙しさのあまり、周りが見えなくなったり、今すべきことから逃げ出したくなったりすることもあります。しかし、同じ夢に向かって歩んでいるクラスメイトの存在は、お互いに励まし合い、前進していくための大切な存在となっております。

私たちはどこにあるのか分からない幸せを探すために、すでに日常の中に満ちている小さな幸せを見逃したり、無視したり、捨てたりしていることはないでしょうか。もちろん最高を求めるのは誤りではありませんが、だからといって、小さなことを見過ごしてはいけないように思います。そのありふれた日常の中にこそ、真の幸せがあるかもしれません。

ありふれた日常を大切に思い、喜び、感謝しつつ祈ることで、新しい幸せを発見できることにつながっていくのではないでしょうか。

クラブ役員及び各委員長			
会長	山田芳之	メネット会長	時任かな子
副会長	湯田裕憲	地域奉仕・環境委員長	森博之
〃	上村眞智子	ＥＭＣ委員長	時任幸四郎
書記	小重千代美	Ｙサ・ユース委員長	蠣原郁子
〃	小堀鈴代	ファンド委員長	中山順博
〃	田中智子	交流委員長	上村眞智子
〃	湯田裕憲	ドライバー委員長	前田香代子
会計	堀川和幸	ウェルネス委員長	金澤知徳
〃	古閑恵子	広報・プリテン委員長	上野雄大
〃	野村憲一	担当主事	加藤泰文
監事・会計監査	由富章子	直前会長	中山順博

10月例会記録				ニコニコファンド	
在籍会員数	30名	メネット	3名	10月例会	¥9,920
例会出席	23名	ゲスト	1名		
メーキャップ	1名	ビジター	5名	累計	¥46,298
出席率	80.0%	コメット			

会長通信

第37代会長
山田 芳之

◇主題
もう一度。
持続可能なクラブ運営と
活性化を目指そう！

10 月 28 日に行われた恒例のじゃがいもファンドは皆さんお疲れ様でした。若い留学生や熊本クラブの吉岡ワイズ引率の学生さんらが大いに働いてくれたのは助かりました。それに毎度のことですが吉本メネットのフォークリフトは大活躍、心より感謝申し上げます。これが来年からはなくなるのは残念ですが、変化は受け入れて、変化に順応していくことが持続化の真髄です。来年はどうなるか不明ですが、適応していきましょう。

今年も残り２ヵ月をきりました。ついこの間まで夏日が続いていましたが、ここ数日は朝夕の冷え込みが厳しく、ところが昼間の暑さはまだまだ続いており、地球規模の気候変動の怖さを感じます、でも怖いのは気候だけではありません。世界のあちこちで紛争が起こり、いつ世界大戦が勃発してもおかしくない状況になっています。日本も対岸の火事ではありません。何と言っても平和が 100 年以上続いた歴史はないと言われるくらいであり、日本でさえまだ戦後は 78 年です。

皆さまに大切なお願いがあります。10 月の役員会、第二例会でも話し合いましたが、今年中に次期会長候補を決めなければなりません。例年なら年末の忘年会で次々期会長まで決まっているところです。この事案は何よりも先んじて解決すべき案件であり、どうか自薦他薦を問わず、立候補をお願いします。

今の時期を境にこれからワイズ、ＹＭＣＡともに行事が目白押しです。これらの活動を盛り上げたいのでメンバー皆さまのご協力を懇願いたします。今月末のチャリティラン熊本、クリスマス関連行事、ＹＭＣＡの年末募金、200％例会、ワイズデー、その他諸々の行事があって、最後の締め括りが６月に名古屋で開催される第27回西日本区大会になります。全てとは言いませんが、一緒に楽しみましょう。

本日は熊本市の文化創造部部長をお招きして、熊本地震で倒壊した我々ジェーンズには非常にゆかりのあるジェーンズ邸が今年９月から再建されたお話、また熊本の文化等について話をしていただきます。皆さま楽しみにされてください。

留学生スピーチ大会

Ｙサ・ユース委員長　嬬原郁子

９月 13 日、熊本市国際交流会館ホールで開催された留学生スピーチ大会に審査員として参加しました。

日本語科在籍半年、１年、１年半の 11 か国 113 名留学生のなか各クラスの予選を通ってきた９人のスピーチを聞きました。

５人の審査員で構成、文法、発音、態度といった内容で採点協議のうえ、１位には　タイトル『私と日本語の関係』のマリナ・ラマさん（ネパール）が選ばれ、大会終了後のテレビ局のインタビューで『日本人の友達を作りたい』と答えていたのが印象的でした。

私にとっては３年ぶりのスピーチ大会参加で、学生の皆さんが緊張しながらも大会を楽しんでいる様子をみれてホントに良かったと思います。

ご指導の先生やスタッフにも感謝です。

ニュースでも取り上げられ、会場では一般の方のご来場を含めて、約 130 名の観衆の皆さんからの温かい拍手や応援もとても良かったです。

皆さんお疲れ様でした！

じゃがいもファンド

ファンド委員長　中山 順博

10 月 28 日土曜日、毎年恒例のじゃがいもファンドを実施しました。今年も晴天に恵まれ、汗ばむ陽気のなか作業できました。今年はファンド委員長として事前作業に携わらせていただき、当日は現場での指示を行いました。

ワイズ、メネットだけでなく YMCA 学院の留学生の皆さんと熊本クラブの吉岡ワイズ引率の九州看護福祉大学の学生さんのご協力も頂きながらスムーズに進めることができました。

個人的には時任ワイズ、小堀ワイズの多大なるご尽力を頂き毎年のじゃがいもファンドが運営できていることを肌で感じ、大変勉強になりました。当日、作業にご参加頂きありがとうございました。じゃがいもファンドが終わると季節は秋から冬に差し掛かりますね。

【ファンド代金振込先】

肥後銀行島崎支店　普通口座 No.３０４４１６

口座名義　時任幸四郎（トキトウコウシロウ）

※振込は早めにお願いします

熊本 YMCA 通信

担当主事　加藤 泰文

1.【熊本 YMCA】熊本 YMCA 創立 75 周年記念式典

熊本 YMCA 創立 75 周年記念礼拝と式典・記念講演会が九州学院ブラウンメモリアルチャペルを会場として開催されました。記念礼拝では、日本福音ルーテル神水教会の角本浩牧師による説教「祝福をもたらすために」をお聴きすることができました。

続く第二部式典では、行政から深水政彦熊本市副市長、日本の YMCA から、日本 YMCA 同盟田口努総主事より祝辞を頂戴いたしました。第三部の記念講演会では、私たちの YMCA が目指す方向性に示唆を与えられることになる、「ほめ育」というテーマで、原邦雄さんからの講演をいただきました。「私たちは、ほめ合うために存在する」ことを確認できる機会となっています。続く第四部の祝賀・感謝会では、会場をメルパルク熊本に移し、195 名の参加による会が催されました。ルーテル学院中学・高校の素晴らしいハンドベルの調べによるオープニングから、交流を再開した韓国大邱(テグ)YMCA イ・チュンギ理事長ら 4 名の来熊とご挨拶では、コロナ禍で中止されていた青少年のスポーツ交流や職員研修が再開され、熊本 YMCA と韓国大邱(テグ)YMCA の交流がさらに深まることを願うメッセージを頂戴いたしました。感謝会の中では、熊本 YMCA 学院日本語科留学生の民族衣装をまとってのダンスや、キャンプソングの合唱。最後には、数年ぶりに、「熊本 YMCA の歌」を 3 番まで歌い和やかな雰囲気で幕を閉じました。全てを祝福された時として多くの方たちと時間を共にできたこと感謝申し上げます。

2.【学院】熊本 YMCA 創立 75 周年記念 熊本 YMCA 学院建築科大同窓会

10 月 27 日には、熊本 YMCA 学院建築科の大同窓会が熊本ホテルキャッスルにて開催されました。卒業生の実行委員会により企画いただき、151 名の参加がありました。熊本県副知事の木村敬さんも、熊本 YMCA との災害支援関連などにより来賓として参加されました。熊本 YMCA 学院は、2022 年度までの卒業生が、延べで 10,000 名を超えました。その中で、建築科の卒業生は、2551 名に上り、現在、第 57 期生が在籍しております。素晴らしい出会いが満載となり盛会に終えることができました。

3.【熊本 YMCA】YMCA 年末募金

11 月 1 日より YMCA 年末募金スタートいたしました。

YMCA は、互いを認め合い、高めあう「ポジティブネット」のある豊かな社会をつくることを目指しています。自然災害や紛争、貧困冬により困難な状況ん美ある方々のことを想い、YMCA 年末募金を実施いたします。今年の募金目標額は、1200 万円。厳しい状況にある方々に寄り添う活動に、経済的な困難等を抱える子どもたちの支援に、学生の支援・ユースリーダーの育成に、貧困や紛争の中にある人々の生活や教育を支えるために用いられます。

2024 年 1 月 31 日まで募金活動を行っております。お知り合いの方にもご紹介いただき、善意の輪を広げていけたら幸いです。趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※熊本 YMCA への募金や寄附は、税制上の優遇が受けられます。
確定申告の際には、熊本 YMCA の各法人が発効する寄附金領収書の添付が必要となります。
詳しくは、HP でご確認ください。

4.【熊本 YMCA】第 55 回前進祭報告

11 月 5 日（日）、本館にて前進祭を開催いたしました。55 年前から始まった前進祭。熊本 YMCA が厳しい状況にありましたが、全国より支援金をいただき、自分たちも踏ん張らないといけないとの思いで、11 月 3 日、「前進祭」としてスタートしたセンター祭となります。各クラスの出店をはじめ、恒例ののみの市、甲斐ワイズもご参加いただきましたキッチンカー等、500 名を超える方々にお越しいただきました。

得られた収益金は、「熊本地震復興支援・災害支援のために」「国際協力のために」「ボランティアリーダー育成・派遣のために」「地域活動（ふれあいランチ等）のために」使用いたします。

あらためまして、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

5.【熊本 YMCA】第７回熊本 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2023

YMCA インターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、ともに幸せに生きていける社会を目指して開催されています。現在、YMCA は年間およそ 400 のプログラムを実施し、約 5,000 名の子どもたちが参加していますが、全国の障がいのある子どもたちが参加できるようになるまでには、まだまだ遠い道のりです。障がいのある子どもたちへの社会的な関心を高める機会として、より多くの方々にチャリティーランにご参加・協賛いただくことで、障がいのある子どもたちのためのプログラムが増え、多くの子どもたちが参加できるようになります。熊本 YMCA においては８回目を迎えました。目標距離は、「2023km」。昨年度に引き続き、制限なしでの開催となります。グループ、個人、ファミリーと大歓迎です！

また、ハイブリッド開催となりますので、写真もしくは動画を SNS に投稿してください。障がいを持った子どもたちのために、私たちができること…。一緒にチャレンジいたしましょう！

申込期限　　：～2023 年 11 月 22 日（水）
開催日・期間：2023 年 11 月 26 日（日）
～12 月４日（日）
オープニングラン　11 月 26 日（日）
10:00～12:30　＠益城町総合運動公園

第２例会報告

書記：小堀 鈴代

日時：2023 年 10 月 27 日（金）19：00～21：00
場所：YMCA 本館
出席者：山田会長、上村、甲斐、蠣原、古閑、小堀、千代盛、時任、堀川、前田、森、湯田　計 12 名

＊第 2 例会開催前に熊本 YMCA 学院ホテル観光科の学生による「熊本おもてなし修学旅行」と題してのプロジェクトのプレゼンテーションが行われた。（ホテル観光課：渡邊先生、金丸さん）

【連絡報告】

1　10 月例会　10/10（火）
出席者：メン（23 名）メネット（3 名）
ゲスト（1 名）ビジター（5 名）　計 32 名
プロジェクターを使用して八代クラブの守田富男ワイズ「走ったら運が動き出す！」と題しての講演がとても良かった。

2　YMCA 創立 75 周年記念式典　10/9(月･祝日)
九州学院ブラウンメモリアルチャペルに於いて記念礼拝、式典、記念講演が行われ、その後、ホテルメルパルクで懇親会が行われた。

【行事確認】

レジメの通り。

【協議・承認】

1　11 月例会について（承認）
卓話者：熊本市文化創造部部長　田島千花子氏
「文化芸術を親しめるまちづくり」と題してジェーンズ邸の再建を含めた幅広い話を行ってもらう。
食事：和食が出来ないときは中華

12 月クリスマス例会について（承認）
場所：フェリシア
会費：￥6000（自己負担￥2000）
メネット分はドライバー委員長と打ち合わせ。

2　200%例会の時期（承認）
杉嶌ミカさんに「ミカライブ」として３月か４月で考慮する。

3　次期会長、次次期会長選出について（承認）
今年中に決定したい。
次期九州部地域奉仕・環境事業主査は湯田ワイズに決定。

4　ぷらっとほーむ支援について（承認）
その都度必要な時に（支援金+人的支援）を行う事とする。

5　地域奉仕環境事業、Ｙサ事業の検討（承認）
YMCA 学院日本語科の尾道校長に情報をいただき、留学生、YMCA が時期的にも落ち着いた後、今期中にスタートしたい。森地域奉仕・環境委員長に計画を考えてもらう。

6　チャリティーランエントリー（承認）
コスチュームに力を入れて参加。
協賛金￥10000 を負担する。

7　西日本区 25 周年記念誌購入、配布（承認）
新入会員用に３冊をクラブで購入する。

8　DBC 交流について（承認）
12 月１日～3 日（沖縄）へ６名参加。規程に基づき交通費￥20000（1 名）を補助。

9　IBC について（承認）
台北ユニオンクラブ 15 名来熊（1/18～1/22）、前田ワイズから情報を得る。

１０　ポニーキャンプ参加について（承認）
今年は終了。来年の為継続審議。

１１　熊本盲学校支援（承認）
広告協賛金　￥10000（サイズ A5）とする。

１２　市民クリスマス支援（承認）
例年通り 10 枚購入。メンバー購入後、留学生へ。

１３　前進祭（承認）
11/5(日)開催、協賛金￥10000 とする。

１４　メーリングレンタルサーバーについて
迷惑メールや YMCA メール等の問題で今調査、研究中。ホームページ更新の問題も安武ワイズの会社に見積をとって依頼する等、継続審議とする。

【その他】

1　ロースターが届いたので今日の第２例会と 11 月の例会で渡す事とする。（受渡簿に記入のこと）

2　10/28 じゃがいもファンド作業の集合時間を９：30 から９：00 に変更。

♪ ワイズソング ♬

いざたて

1．いざたて　心あつくし　手を挙げ　誓いあらたに
われらの　モットー守る　ふさわしその名ワイズメン
絶えせず　めあて望み　この身を　捧げ尽くさん

2．歌えば　心ひとつに　ともがき　ひろがり行きて
遠きも　近きも皆　捧げて　立つやワイズメン
栄と　誉れ豊か　まことは　胸にあふれん

なごりはつきねど

なごりはつきねど　集いは果てぬ
今日ひと日の幸　静かに思う
むーーーーーむーーーーー

１０月例会報告

司会　安武 洋一郎

10 月例会では、多久和扶路子さんの熊本ジェーンズワイズメンズクラブの入会式が滞りなく終わり、参加者の皆様から歓迎を受けました。また、八代クラブの守田富男ワイズが、マラソンを通して、身体と心が変わり人生が面白くなった。と、セミナーが開催されました。

私も熊本城マラソンに初めてチャレンジします。身体と、心が変わると良いな。心の琴線に触れたい。